



学校だより

バンクーバー補習授業校

2025年度
第25号
2026・3・19

第53回卒業証書授与式を終えて

— 旅立ちの春に寄せて —

3月15日（日）、令和7年度バンクーバー補習授業校第53回卒業証書授与式を、無事に挙行することができました。

当日は、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、卒業生一人ひとりの門出を、厳粛かつ温かい雰囲気の中で祝福することができました。これもひとえに、在バンクーバー日本国総領事館をはじめ、バンクーバー日本商工会、補習授業校運営委員会、保護者会、そして当地日系コミュニティの皆様のご献身的なご支援とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

振り返りますと、卒業生の皆さんは、一步一步着実に成長してきました。種々の行事の折々に見せてくれた伸びやかで生き生きとした姿は、私たち教職員の心を動かししました。本校での学びや友だちとの出会いを通して、国際社会に生きるための感性や学力を培ってくれたことを嬉しく感じております。

また、例年のことながら、卒業学年以外にも、帰国や現地校の学習に専念するなどの理由により、年度末を機に補習校を離れる子どもたちも多数います。本校で学び、経験したことが、それぞれの前途を切り拓く力となり、新たな場において大いに活躍してくれることを祈り、心からエールを贈ります。

本校の運営を支えてくださっている関係者の皆様方には、今後とも、本校の教育活動に変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

卒業生、そして本校を巣立つ子どもたちの未来が、希望に満ちたものとなることを願ってやみません。



中学部特別活動員会の活動から

このたび、中学部特別活動委員会より、本校へ、秋のバザーでのランチ販売の益金をもって、サッカーボール、バスケットボール、バレーボールを寄贈いただきました。バザーにおけるランチ販売の企画段階から、生徒たちが主体的に話し合い、取り組んできたことが一つの形となって結実したことを、大変嬉しく感じております。

日本の学習指導要領に位置づけられている「特別活動」とは、学校行事や委員会活動などを通して、子どもたちが自ら考え、仲間と協力しながらよりよい学校生活をつくっていく力を育てる教育活動です。これは、その本質である「為すことによって学ぶ」実践そのものであり、貴重な学びの機会です。

生徒たちは、今回の寄贈に至るまでの過程において、自分たちで考え、話し合い、行動することを通して、主体的に活動することの楽しさを実感してきたことと思います。こうした活動を通して、自分たちの取り組みが学校生活に還元される喜びを感じるとともに、協働することの大切さや、周囲への感謝の気持ちをさらに育ててくれたらと考えます。

今回、寄贈いただいたサッカーボール、バスケットボール、バレーボールは、昼休みなどの運動やレクリエーション場面で大いに活用されるものと思います。ありがとうございました。

